
Oracle Open Source サポート・ポリシー – 変更履歴 –

発効日:2022年10月27日

Oracle Open Source サポート・ポリシー(旧称 Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシー)の、2022年10月27日付で更新された内容は、以下となります。:

- Oracle Open Source サポート・ポリシー初版のリリース

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2022年9月1日付で更新された内容は、以下となります。:

◆ ライフタイム・サポート

- プログラム・リリースの後に「及び9」を追加。
- 第3センテンスを削除し、以下に置き換え—「Oracle Linux プログラム・リリースに関しては、サポートが（提供される場合）さらに数年 Oracle Linux Extended Support として延長される場合があります。」

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2022年8月11日付で更新された内容は、以下となります。:

◆ 概要

- 「サービスの利用」のセクションにおいて、このパラグラフに定める制限対象に「ベラルーシ」及び「ベラルーシ政府」を追加。

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2022年5月6日付で更新された内容は、以下となります。:

◆ 概要

- 「サービスの利用」のセクションのパラグラフを削除し、以下に置き換え。
「サービスの利用：ベネズエラ政府およびロシア連邦政府を含む（ただし、これに限定されるものではありません）ベネズエラおよびロシア連邦の個人又は法人又はその代理人に対してサービスを提供することはできず、当該個人又は法人又はその代理人がサービスにアクセスすることはできず、また、サービス又はそれから生じる成果物を、当該個人又は法人の利益のために利用することはできません。」

◆ 重要度の定義

- 重要度の定義内に以下補足を追加。

重要度 1 (Critical Outage/クリティカルな停止)

重要度 2 (Significant Impairment/重大な障害)

重要度 3 (Technical Issue/技術的な問題)

重要度 4 (General Guidance/一般的なガイダンス)

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2022 年 3 月 11 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ 概要

- 次の新たなサブセクションを挿入。

「**サービスの利用**：ベネズエラ政府を含む（ただし、これに限定されるものではありません）ベネズエラの個人又は法人に対してサービスを提供することはできず、当該個人又は法人がサービスにアクセスすることはできず、また、サービス又はそれから生じる産出物を、当該個人又は法人の利益のために利用することはできません。」

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2021 年 11 月 1 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ 概要

- 第 1 パラグラフにおいて、次の第 7 センテンス全体を削除—「Oracle Linux のプログラム・ドキュメント及び Oracle VM のプログラム・ドキュメントに含まれている第三者の Web サイトへのリンクは、オラクルが、その第三者の Web サイトに記載されている機能をサポートしているということを意味するものではありません。」
- 次の新たな第 2 パラグラフ及び第 3 パラグラフを追加—「Oracle Linux においてお客様がお受けになる中核となる Linux プログラムに加えて、追加の Linux プログラムもサポート対象となります。ただし、お客様が Oracle Linux サポートの有効なサブスクリプションをお持ちであることが条件となります。特定のサポート・レベルで利用可能な追加の権利及び使用制限付ライセンスについては、www.oracle.com/linux/support.html でご覧になれます。」

Oracle Linux のプログラム・ドキュメント及び Oracle VM のプログラム・ドキュメントに含まれている第三者の Web サイトへのリンクは、オラクルが、その第三者の Web サイトに記載されている機能をサポートしているということを意味するものではありません。」

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2021 年 6 月 4 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ 概要

- 第 1 パラグラフの第 4 センテンスにおいて、末尾の「記載されます」を「記載されています」に置き換え。
- 第 1 パラグラフにおいて、最後の 2 つのセンテンス全体を削除し、次の文言に置き換え—「オラクルは、当該プログラム・ドキュメントに特段の記載がない限り、当該プログラム・ドキュメントに記載されている Oracle Linux の機能及び Oracle VM の機能をサポートしています。当該プログラム・ドキュメントは、www.oracle.com/documentation でご覧になれます。Oracle Linux のプログラム・ドキュメント及び Oracle VM のプログラム・ドキュメントに含まれている第三者の Web サイトへのリンクは、オラクル

が、その第三者の Web サイトに記載されている機能をサポートしているということを意味するものではありません。オラクルは、Oracle Linux サポート又は Oracle VM サポートがインストール支援のみに限定されている追加の Oracle Linux プログラム及び／又は Oracle VM プログラムをリリースする場合があります。当該プログラムがアップストリームでリリース又は削除されたとき、プログラム、バグ修正及びセキュリティ Errata（エラータ）については提供又は削除される場合があります。一定のチャンネルには、このカテゴリにのみ該当するパッケージが含まれており、当該チャンネルは、www.oracle.com/documentation で閲覧可能な Oracle Linux のプログラム・ドキュメント及び／又は Oracle VM のプログラム・ドキュメントに記載されています。

◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM のサポート・レベル— Oracle Linux Premier Support**

- 7 番目のプレット・ポイントにおいて、文頭に「Backport Schedule に記載されており、」を追加。

◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM のサポート・レベル— Oracle VM Premier Support**

- 6 番目のプレット・ポイントにおいて、文頭に「Backport Schedule に記載されており、」を追加。

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2021 年 5 月 7 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM のサポート・レベル— Oracle Linux Premier Support**

- 注記 1 において、第 3 センテンスとして、次の文言を挿入—「CentOS インストールの場合、オラクルは、CentOS Stream ではなく CentOS Linux に基づいたシステムのみサポートいたします。」
- 注記 1 の第 4 センテンスにおいて、「バグ修正関連の Errata（エラータ）」の後に「及びその他のアップデート」を挿入。
- 注記 1 の第 5 センテンスにおいて、「それらの動作には」の後に「システムの完全な」を挿入。

◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM のサポート・レベル— Oracle Linux Basic Support**

- 注記 1 において、第 3 センテンスとして、次の文言を挿入—「CentOS インストールの場合、オラクルは、CentOS Stream ではなく CentOS Linux に基づいたシステムのみサポートいたします。」
- 注記 1 の第 4 センテンスにおいて、「バグ修正関連の Errata（エラータ）」の後に「及びその他のアップデート」を挿入。
- 注記 1 の第 5 センテンスにおいて、「それらの動作には」の後に「システムの完全な」を挿入。

◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM のサポート・レベル— Oracle Linux Extended Support 及び Oracle VM Extended Support**

- 注記 1 において、第 3 センテンスとして、次の文言を挿入—「CentOS インストールの場合、オラクルは、CentOS Stream ではなく CentOS Linux に基づいたシステムのみサポートいたします。」
- 注記 1 の第 4 センテンスにおいて、「バグ修正関連の Errata（エラータ）」の後に「及びその他のアップデート」を挿入。
- 注記 1 の第 5 センテンスにおいて、「それらの動作には」の後に「システムの完全な」を挿入。

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2020 年 10 月 20 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ 概要

- 第 4 パラグラフにおいて、「<http://linux.oracle.com/hardware.html>」を「<https://linux.oracle.com/hardware-certifications>」に置き換え。

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2019 年 12 月 20 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ Oracle Linux 及び Oracle VM のサポート・レベルー Sustaining Support

- サブセクション「*Sustaining Support for Oracle Linux*」において、最初のプレット・ポイントの「Oracle VM Premier Support 期間中」の後に、「及び Oracle Linux Extended Support 期間中（提供される場合において、Oracle Linux Extended Support 期間の終了後に限ります）」を挿入。
- サブセクション「*Sustaining Support for Oracle VM*」において、最初のプレット・ポイントの「Oracle Linux Premier Support 期間中」の後に、「及び Oracle VM Extended Support 期間中（提供される場合において、Oracle VM Extended Support 期間の終了後に限ります）」を挿入。

◆ ライフタイム・サポート

- 第 3 パラグラフの第 1 センテンスにおいて、「Oracle Linux プログラム・リリース 5、6」の後ろの「及び 7」を「、7 及び 8」に置き換え。
- 第 3 パラグラフの第 3 センテンスにおいて、「Oracle Linux プログラム・リリース 5、6」の後ろの「及び 7」を「、7 及び 8」に置き換え。

◆ Oracle Linux 及び Oracle VM のサポート・レベルー Oracle Linux Premier Support

- 注記 2 の第 1 センテンスにおいて、「ダウンロードにて」を削除。
- 注記 2 の第 3 センテンスにおいて、「(i)」を「(a)」に、「(ii)」を「(b)」に置き換え。
- 注記 3 の第 2 センテンスにおいて、「このような」を削除し、その削除後の「ハードウェア認証」の前に「6 年以上経過した Oracle Linux のバージョンについて」を挿入。

◆ Oracle Linux 及び Oracle VM のサポート・レベルー Oracle Linux Basic Support

- 注記 2 の第 2 センテンスにおいて、「このような」を削除し、その削除後の「ハードウェア認証」の前に「6 年以上経過した Oracle Linux のバージョンについて」を挿入。

◆ Oracle Linux 及び Oracle VM のサポート・レベルー Oracle VM Premier Support

- 注記 2 の第 2 センテンスにおいて、「このような」を削除し、その削除後の「ハードウェア認証」の前に「4 年以上経過した Oracle Linux のバージョンについて」を挿入。

◆ Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・レベルー Oracle Linux Extended Support 及び Oracle VM Extended Support

- 注記 2 の第 1 センテンスにおいて、「ダウンロードにて」を削除。
- 注記 2 の第 3 センテンスにおいて、「 (i) 」を「 (a) 」に、「 (ii) 」を「 (b) 」に置き換え。

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2019 年 9 月 11 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ 目次

- 8 番目の項目にて、「Security」を「Data Protection」に置き換え。

◆ Global Customer Support Data Protection Practices

- タイトルにて、「Security」を「Data Protection」に置き換え。
- 第 1 パラグラフの最初の 2 つのセンテンス、「オラクルは、オラクルのテクニカル・サポート・サービスのセキュリティについて真剣に取り組んでいます。スタンダードなテクニカル・サポート・サービスをご提供するにあたり、オラクルは、<https://www.oracle.com/jp/support/policies.html> で閲覧可能な Global Customer Support Security Practices を遵守します。」を「オラクルによるテクニカル・サポート・サービスの提供の一環として、お客様がオラクルに個人情報を提供される場合、オラクルは以下に従います。
・<https://www.oracle.com/legal/privacy/services-privacy-policy.html>で閲覧可能なオラクルのServices Privacy Policy
・<https://www.oracle.com/corporate/contracts/cloud-services/contracts.html#data-processing>で閲覧可能なオラクル・サービスのオラクル・データ処理契約の適用されるバージョン」に置き換え。
- 第 2 パラグラフにて、新たな第 1 センテンスとして、次の文言を追加—「テクニカル・サポート・サービスをご提供するにあたり、オラクルは、オラクルの Global Customer Support Security Practices に記載の適用される管理的、物理的、技術的及びその他の保護措置も遵守します。」
- 第 2 パラグラフの第 3 センテンスにて、「テクニカル・サポートの料金が既に支払われた期間中」を「当該テクニカル・サポート・サービスのサービス期間中」に置き換え。
- 第 2 パラグラフにて、新たな第 4 センテンス、「お客様には、この Global Customer Support Security Practices を随時閲覧することをお勧めします。」を挿入。
- 第 2 パラグラフの最後のセンテンスにて、「付属の」を削除。
- 第 3 パラグラフの第 1 センテンスにて、「Global Customer Support のサービス」を「テクニカル・サポート・サービス」に置き換え、「及びシステム」を削除し、「セキュリティ」の後に「又はプライバシー」を挿入。
- 第 3 パラグラフの第 2 センテンスにて、「機微なデータ」の前の「医療記録、ペイメント・カード、又はその他」を「Protected Health Information（保護対象の医療情報）、ペイメント・カード・データなどの」に置き換え、「保護」を「セキュリティ及びプライバシー制御」に置き換え、「よりも嚴重な」の後に「又はそれと異なる」を挿入。
- 第 3 パラグラフの最後のセンテンスにて、
「<https://support.oracle.com/CSP/main/article?cmd=show&type=NOT&id=1227943.1>。」を「[Doc ID 1227943.1](#)」に置き換え。
- 新たな最後のパラグラフとして、本セクションに次の文言を挿入—「以上の制限事項に関わらず、お客様が、テクニカル・サポート・サービスを受けの一環として、該当欧州データ保護法（オラクル・サービスのデータ処理契約で定義されています）の適用対

象である個人情報又は United States Health Insurance Portability and Accountability Act（以下「HIPAA」といいます）（米国における医療保険の相互運用性と説明責任に関する法令）の適用対象である Protected Health Information（以下「PHI」といいます）（保護対象の医療情報）をオラクルに提出することを希望される場合、お客様には、以下を行っていただかなければなりません。

- ・ PHIの場合、（該当する場合）お客様のテクニカル・サポート・サービスを具体的に参照し網羅する HIPAA 事業提携者契約（Business Associate Agreement : BAA）をオラクルと締結する
- ・ 該当欧州データ保護法の適用対象である個人情報や PHI を、My Oracle Support カスタム・ポータル上において、サービス・リクエストの添付ファイルでのみ提出する
- ・ 当該サービス・リクエストの本文には、（オラクルがそのサービス・リクエストに対応するうえで必要となる連絡先情報以外）該当欧州データ保護法の適用対象である個人情報も又は PHI を含まない
- ・ My Oracle Support 内で入力を促されたら、当該サービス・リクエストの添付ファイルに該当欧州データ保護法の適用対象である個人情報（My Oracle Supportで「EEA Personal Data」として指定されている場合もあります）又は PHI が含まれている可能性があることを明示する。

◆ ライフタイム・サポート

- 第1パラグラフの2番目のプレット・ポイントにて、「Oracle Linux Extended Support」の後に「及び Oracle VM Extended Support」を挿入。
- 第2パラグラフにて、「Oracle Linux Extended Support、」の後に「Oracle VM Extended Support、」を挿入。
- 新たな第6パラグラフとして以下を挿入—「Oracle VM プログラムに関しては、サポートが（提供される場合）さらに3年間 Oracle VM Extended Support として延長される場合があります。なお、Oracle VM Premier Support のテクニカル・サポート料金に加えて、Oracle VM Extended Support の料金が、Oracle VM Extended Support が購入された各サポート期間に対して適用されます。」。

◆ Oracle Linux 及び Oracle VM のサポート・レベル— Oracle Linux Premier Support

- 3番目のプレット・ポイントにて、「³」を「²」に置き換え。
- 6番目のプレット・ポイントにて、「²」を「³」に置き換え。
- （注記）にて、注記2を注記3に、注記3を注記2に移動。
- 注記3にて「オラクルの裁量により」を「オラクルの単独の裁量により」に置き換え。

◆ Oracle Linux 及び Oracle VM のサポート・レベル— Oracle Linux Basic Support

- 注記2にて、「オラクルの裁量により」を「オラクルの単独の裁量により」に置き換え。

◆ Oracle Linux 及び Oracle VM のサポート・レベル— Oracle VM Premier Support

- 注記2にて、「オラクルの裁量により」を「オラクルの単独の裁量により」に置き換え。

◆ Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・レベル— Oracle Linux Extended Support 及び Oracle VM Extended Support

- 本セクションのタイトルを、「Oracle Linux Extended Support」から「Oracle Linux Extended Support 及び Oracle VM

Extended Support」に変更。

- 第1パラグラフの第1センテンスにて、「Oracle Linux プログラム」を「Oracle Linux 及び Oracle VM プログラム」に、「Oracle Linux Premier Support 満了後」を「Oracle Linux Premier Support 又は Oracle VM Premier Support 満了後」に、「Oracle Linux Extended Support」を「Oracle Linux Extended Support 及び Oracle VM Extended Support」に変更。
- 第1パラグラフの第3センテンスにて、「Oracle Linux Extended Support」の後に「又は Oracle VM Extended Support」を挿入。
- 第2パラグラフの第1センテンス、「本項目に別途記載がない限り、Oracle Linux Extended Support が提供されている、サポート契約締結中の Oracle Linux プログラムのリリースは、以下に限定される Oracle Linux Premier Support の提供を受けます。」を「Oracle Linux Extended Support—
Oracle Linux Extended Support フェーズの Oracle Linux プログラムのリリースは、以下に限定される Oracle Linux Premier Support の提供を受けます。」に置き換え。
- 本セクションの最後に以下の文言を挿入—「Oracle VM Extended Support—
Oracle VM Extended Support フェーズの Oracle VM プログラムのリリースは、以下に限定される Oracle VM Premier Support の提供を受けます。
 - ・ 1日24時間、週7日のサービス・リクエストの支援
 - ・ クリティカルなセキュリティ Errata（エラータ）に対する Oracle VM ソフトウェアのパッチ（修正プログラム）へのアクセスと影響の大きいクリティカルなバグ修正の選択
 - ・ My Oracle Support（1日24時間、週7日の Web ベースのカスタマ・サポート・システム）へのアクセス（オンラインでのサービス・リクエストのログ記録機能を含みます）
 - ・ 1日24時間、週7日の Oracle Unbreakable Linux Network へのアクセス

Oracle VM Extended Support には、以下のサービスは含まれません。

- ・ ハードウェアの認証
- ・ パッチ（修正プログラム）のバックポート。

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2018年8月3日付で更新された内容は、以下となります：

◆ 概要

- 第1パラグラフの最後のセンテンスの前に、以下の文言を挿入—「さらにこのプログラム・ドキュメントには、Oracle Linux サポートの各サービス・レベルや Oracle VM サポートの各サービス・レベルに基づきサポートされる追加プログラムの一覧も含まれています。」。

◆ ライフタイム・サポート

- 第2パラグラフの第1センテンスにある、「テクニカル・」を「Oracle Linux 及び Oracle VM の」に置換。
- 第2パラグラフの第1センテンスにて、「記載されています」の手前に以下の文言を挿入—「のほか、上述の項目1. に明記される通り、プログラム・ドキュメントにも」。

- 第 5 パラグラフにある「付属の」を削除。

◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM のサポート・レベル— Oracle VM Premier Support**

- (注記) 1. にある「付属の」を削除。

◆ **Web ベースのカスタマ・サポート・システム— My Oracle Support**

- 第 1 パラグラフの冒頭に、新たな第 1 センテンスとして以下の文言を追加—「My Oracle Support は、Oracle Linux サポート 及び Oracle VM サポートに対応する、オラクルのカスタマ・サポート Web サイトです。」。
- これに伴い新たに第 2 センテンスとなった文言で、「Terms of Use」を「Oracle Support Portal Terms of Use」に変更し、そこに hyperlink を設定。
- 新たに第 3 センテンスとなった文言を次のように変更—「当該 Terms of Use は変更される場合があります。」⇒「当該 Oracle Support Portal Terms of Use は、オラクルの裁量により変更される場合があります。」。
- 最終センテンスの後半部分「ており、またこのアクセスは、Oracle Linux Premier Support、Oracle Linux Basic Support 及び Oracle VM Premier Support に含まれています。」を削除。

◆ **サポート・サービス提供に使用されるツール**

- 第 1 パラグラフの第 2 センテンスにある「My Oracle Support Terms of Use」を「Oracle Support Portal Terms of Use」に変更し、そこに hyperlink を設定。

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2017 年 3 月 17 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ **概要**

- 第 1 パラグラフの最後に、「このプログラム・ドキュメントは、www.oracle.com/documentation でご覧になれます。」を追加。

◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM のサポート・レベル— Oracle VM Premier Support**

- 7 番目のプレート・ポイントを削除。

◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM のサポート・レベル— Sustaining Support**

- 下部セクション“*Sustaining Support for Oracle VM*”にて、4 番目のプレート・ポイントを削除。

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2016 年 6 月 10 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ **ライフタイム・サポート**

- 第 1 パラグラフに、2 番目のプレートとして「Oracle Linux Extended Support（提供される場合）」を新たに追加。
- 第 2 パラグラフにて、「Oracle VM Premier Support」の後ろに「Oracle Linux Extended Support」を追加。
- 第 3 パラグラフにて、最後から 2 つ目のセンテンスとして、次の文言を追加—「Oracle Linux プログラム・リリース 5、6 及び 7 に対しては、サポートが（提供される場合）さらに 3 年間 Oracle Linux Extended Support として延長される場合があります。なお、Oracle Linux Premier Support のテクニカル・サポート料金に加えて、Oracle Linux Extended Support 料金が、Oracle Linux Extended Support が購入された各サポート期間に対して適用されます。」

◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・レベル— Oracle Linux Premier Support**

- “(注記) 1. ”に次の文言を追加—「さらに Oracle Linux Premier Support には、既存のカスタマ向けに、Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 又は CentOS のインストールのサポートも含まれます。なお RHEL や CentOS のサポートは、Oracle Linux インストール・メディア上で提供されているパッケージ及びバージョン、並びに Scope of Coverage (PDF) に明記された当該サポート項目に限られます。セキュリティ関連とバグ修正関連の Errata (エラータ) は全て、Oracle Linux 版バイナリとなります。ただし、当該バイナリには完全互換があり、それらの動作には再インストールもその他のコーディング変更も一切不要です。」

◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・レベル— Oracle Linux Basic Support**

- “(注記) 1. ”に次の文言を追加—「さらに Oracle Linux Premier Support には、既存のカスタマ向けに、Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 又は CentOS のインストールのサポートも含まれます。なお RHEL や CentOS のサポートは、Oracle Linux インストール・メディア上で提供されているパッケージ及びバージョン、並びに Scope of Coverage (PDF) に明記された当該サポート項目に限られます。セキュリティ関連とバグ修正関連の Errata (エラータ) は全て、Oracle Linux 版バイナリとなります。ただし、当該バイナリには完全互換があり、それらの動作には再インストールもその他のコーディング変更も一切不要です。」

◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・レベル— Oracle Linux Extended Support**

- Oracle Linux Extended Support の提供内容に関するセクションを新たに追加。

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2015 年 12 月 25 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ **購入可能な追加のサポート・サービス— Oracle Priority Support Advantage**

- 新規セクションを追加。

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2015 年 9 月 4 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ **概要**

- 第 1 パラグラフの最後に次の文言を追加—「また当該 Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・サービスには、サポート・サービスの料金が既に支払われたサポート期間中に、特定の追加ソフトウェア又はツールを使用する権利が含まれる場合もあります。そのようなソフトウェアやツールに関するライセンス条項、並びにそれらに関連する制限については、プログラム・ドキュメントに記載されます。」。

◆ **ライフタイム・サポート**

- 第 3 パラグラフの第 1 センテンスにて、「5、6」の後ろに「及び 7」を追加。

◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・レベル— Oracle Linux Premier Support**

- Oracle Management Pack for Linux、Oracle Clusterware for Linux、Oracle Enterprise Manager Ops Center にかかる 8・9・10 番目のプレットを削除。なお、当該サポート・サービスの一環として同梱される追加のソフトウェアやツールについての情報は、<http://oracle.com/documentation> に掲載のプログラム・ドキュメント上で閲覧可能。

◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・レベル— Oracle Linux Basic Support**

- Oracle Management Pack for Linux、Oracle Clusterware for Linux、Oracle Enterprise Manager Ops Center にかかる 6・7・8 番目のプレットを削除。なお、当該サポート・サービスの一環として同梱される追加のソフトウェアやツールについての情報は、<http://oracle.com/documentation> に掲載のプログラム・ドキュメント上で閲覧可能。

◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・レベル— Oracle Linux Network Support**

- Oracle Enterprise Manager Ops Center にかかる 3 番目のプレットを削除。なお、当該サポート・サービスの一環として同梱される追加のソフトウェアやツールについての情報は、<http://oracle.com/documentation> に掲載のプログラム・ドキュメント上で閲覧可能。

◆ Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・レベル— Sustaining Support

- Oracle Management Pack for Linux、Oracle Clusterware for Linux、Oracle Enterprise Manager Ops Center にかかる 5・6・7 番目のプレットを削除。なお、当該サポート・サービスの一環として同梱される追加のソフトウェアやツールについての情報は、<http://oracle.com/documentation> に掲載のプログラム・ドキュメント上で閲覧可能。

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2015 年 3 月 27 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ 概要

- 第 1 段落に実施した修正は以下のとおり—
 - 第 1 文にて、「プログラム」の前に付いていた「サポートが締結されている」を「Oracle Linux 及び／又は Oracle VM」に置き換え、「Oracle Master 契約」を追加。
 - 第 2 文にて、「サポート・サービスの一部としてオラクルから提供される全てのパッチ、バグ修正、及びその他コード等の使用は、Oracle Linux 及び Oracle VM プログラムをダウンロード及び／又はインストールする際に同意した以下の契約条項に従って頂く必要があります： (i) Section A – Oracle Linux に関する条項； (ii) Section B – Oracle VM-Server に関する条項； (iii) Section C – Oracle VM-Manager に関する条項」から「サポート・サービスの一部としてオラクルから提供される全てのパッチ、バグ修正、及びその他コード等については、Oracle Linux 及び／又は Oracle VM プログラムをダウンロード及び／又はインストールする際に同意した所定の使用権許諾（ライセンス）契約の条項に従うものとします」に変更。

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2014 年 11 月 11 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ **概要**

- 第 4 段落で、最後の文「Oracle Linux 及び Oracle VM プログラムの各リリースのサポート対象情報は、<http://linux.oracle.com/supported.html> にて入手可能です。」を削除。

◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル — Oracle VM Premier Support**

- 箇条書き 6 つ目で、「Backport Schedule は <http://linux.oracle.com/backport-schedule.html> にて入手可能です。」を追加。

◆ **購入可能な追加的サポート・サービス**

- 「Oracle Linux 及び Oracle VM の Priority Service」から「Oracle Linux 及び Oracle VM の Oracle Priority Support」に名称変更。
- Oracle Priority Support の提供内容を Oracle.com のリンク先に記載。

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2014 年 4 月 25 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ **目次**

- 新規項目の追加。
- Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシー内の各項目を、参照しやすいようにナンバリング。

◆ **概要**

- 第 5 段落で、Global Customer Support Security Practices の参照を追加。

◆ **サポート条項 — Oracle Linux 及び Oracle VM サポート料金**

- 第 1 文で、(i) 「融資又は支払に関する契約書等」を「オラクル又はオラクル関連会社との間で締結された支払合意書、融資又はリース契約書」に置き換え、(ii) 「（以下、「支払いに関する契約書」といいます）」を追加。
- 第 2 文の「Commitment」の前に「支払い、又は」を挿入。
- 新しく第 4 文を追加。

◆ **サポート条項 — サポート期間**

- 第 4 文を、「あるサポート期間に対して申し込まれた全てのテクニカル・サポート・サービス、及び、関連するサポート料金は、取消不能であり、一旦支払われた金額は払い戻されません。」を「関連する注文書において定めのある場合を除き、一旦お申し込み頂いたお客様のテクニカル・サポート・サービスに対するご注文は取消不能であり、支払われた金額の払い戻しはありません。」に変更。

◆ サポート条項— 支払合意書、融資及びリース契約書

- 本セクションを削除（コンテンツは「Oracle Linux 及び Oracle VM サポート料金」のセクションへ移動）。

◆ 技術連絡先

- 第1段落、(i) 第1文中の「プログラムのテクニカル・サポート」を「テクニカル・サポート・サービス」に変更、(ii) 第3文中の「プログラム」の前に「サポート対象」を追加。
- 第2段落の第1文中の、「Software Update License & Support の注文に伴い」を削除。

◆ ライフタイム・サポート

- コンテンツを「サポート条項」の項目から、別個の項目に移動。

◆ Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル

- 導入の段落を追加。

◆ 購入可能な追加的サポート・サービス

- 新規項目の追加。

◆ お問い合わせ先

- お問い合わせ先の名称変更。

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2013年8月23日付で更新された内容は、以下となります：

◆ Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Oracle Linux 及び Oracle VM の Priority Service

- 本セクション全体にわたり、「Advanced Support Delivery Manager」および「ASDM」を、それぞれ「Technical Account Manager」および「TAM」に置き換え。

◆ Global Customer Support Practices

- 第2パラグラフの第1文中の「GCS」を「Global Customer Support」に変更。

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2012 年 12 月 14 日付で更新された内容は、以下となります：

- ◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Oracle Linux 及び Oracle VM の Priority Service**
 - 本セクション全体を変更。

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2012 年 6 月 15 日付で更新された内容は、以下となります：

- ◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Oracle Linux Premier Support**
 - Oracle Enterprise Manager Ops Center について新しい箇条書き 10 番目を追加。
- ◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Oracle Linux Basic Support**
 - Oracle Enterprise Manager Ops Center について新しい箇条書き 8 番目を追加。
- ◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Oracle Linux Network Support**
 - Oracle Enterprise Manager Ops Center について新しい箇条書き 3 番目を追加。
- ◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Oracle VM Premier Support**
 - Oracle Enterprise Manager Ops Center について新しい箇条書き 7 番目を追加。
 - 注記 2 のハードウェアの認証の期間を 6 年から 4 年に訂正。
- ◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Sustaining Support**
 - Sustaining Support for Oracle Linux の項目に、Oracle Enterprise Manager Ops Center について新しい箇条書き 7 番目を追加。
 - Sustaining Support for Oracle VM の項目に、Oracle Enterprise Manager Ops Center について新しい箇条書き 4 番目を追加。

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2012 年 3 月 30 日付で更新された内容は、以下となります：

- ◆ **概要**
 - 新しい 4 番目のパラグラフの追加。
- ◆ **サポート条項— サポート終了の権利**
 - 本セクションを移動。

◆ サポート条項— ライフタイム・サポート

- 新しいセクションの追加。

◆ Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Oracle Linux Premier Support

- 一部内容をライフタイム・サポートのセクションに移動。
- システムが稼働中に適用可能なセキュリティ・パッチに関して追加。
- バックポートの修正プログラムについて期間の変更。
- 箇条書き 2 番目、8 番目、9 番目の変更。
- 注記を以下の通り変更—
 - (i) 注記 1 の最初の 2 つの文章を削除。
 - (ii) バグ修正について注記 2 を削除。
 - (iii) ハードウェアの認証の期間を 4 年から 6 年に変更。
 - (iv) セキュリティ・パッチについて新しい注記 3 を追加。
 - (v) ライフタイム・サポートについて注記 4 を削除。

◆ Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Oracle Linux Basic Support

- 一部内容をライフタイム・サポートのセクションに移動。
- 箇条書き 2 番目、6 番目、7 番目の変更。
- 注記を以下の通り変更—
 - (i) 注記 1 の最初の 2 つの文章を削除。
 - (ii) バグ修正について注記 2 を削除。
 - (iii) ハードウェアの認証の期間を 4 年から 6 年に変更。
 - (iv) ライフタイム・サポートについて注記 4 を削除。

◆ Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Oracle Linux Network Support

- 一部内容をライフタイム・サポートのセクションに移動。
- 箇条書き 1 番目の変更。

◆ Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Oracle VM Premier Support

- 一部内容をライフタイム・サポートのセクションに移動。
- バックポートの修正プログラムについて期間の変更。
- 箇条書き 2 番目の変更。
- 注記を以下の通り変更—
 - (i) 注記 1 の最初の 2 つの文章を削除。
 - (ii) バグ修正について注記 2 を削除。
 - (iii) ハードウェアの認証の期間を 4 年から 6 年に変更。
 - (iv) ライフタイム・サポートについて注記 4 を削除。

◆ Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Sustaining Support

- 新しいセクションの追加。
-

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2012 年 2 月 3 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ サポート条項— サポート終了の権利

- 本セクション内容の変更。

◆ サポート条項— First Line Support と Second Line Support

- 2 番目のパラグラフの 2 つ目の文の後に、機微なデータに関して新しい文章の追加。
- 2 番目のパラグラフの 3 つ目の文を削除。

◆ テクニカル・サポート・サービス提供に使用されるツール

- 本セクション内容の変更。

◆ Global Customer Support Security Practices

- 新しいセクションの追加。
-

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2011 年 12 月 16 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ 概要

- 4 番目のパラグラフに Oracle Services Privacy Policy の URL を追加。
- 最後のパラグラフの変更履歴の参照について文言の変更。

◆ サポート条項— サービス・レベル

- 最後のパラグラフを Priority Service のセクションに移動。

◆ Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Oracle Linux 及び Oracle VM の Priority Service

- 本項目の最後に新しい 2 つのパラグラフを追加。

◆ Oracle Collaborative Support

- セクション名を「テクニカル・サポート・サービス提供に使用されるツール」に変更。
- 新しい内容の追加。

Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2010 年 12 月 24 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ **全体**

- 「Oracle Enterprise Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシー」から「Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシー」に名称変更。
- Enterprise Linux を Oracle Linux に変更。

◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Oracle Linux Premier Support**

- Oracle Clusterware for Oracle Unbreakable Linux を使用する権利の追加。

◆ **Oracle Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Oracle Linux Basic Support**

- Oracle Clusterware for Oracle Unbreakable Linux を使用する権利の追加。

Oracle Enterprise Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2010 年 2 月 5 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ **概要**

- 以下の記述を削除—
Enterprise Linux 及び Oracle VM プログラムは技術的な制限を含むものがあり、32 個以上のコアまたはハイパースレッド搭載の 32 bit x86 のプラットフォーム、もしくは 64 個以上のコアまたはハイパースレッド搭載の 64 bit x86 のプラットフォームの Enterprise Linux 及び Oracle VM プログラムは Enterprise Linux 及び Oracle VM サポート・サービスの対象外となります。

◆ **Enterprise Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Enterprise Linux Premier Support**

- Enterprise Linux Premier Support の期間を 5 年から 8 年に延長。
- OracleMetaLink から My Oracle Support に変更。
- Extended Support に関する記載を削除（今後 Extended Support は提供されないため）。
- 注記 2 につき、「Enterprise Linux プログラム」を追記。
- 注記 3 につき、ハードウェア認証の提供を 3 年から 4 年に変更。

◆ **Enterprise Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Enterprise Linux Basic Support**

- Enterprise Linux Basic Support の期間を 3 年から 8 年に延長。
- OracleMetaLink から My Oracle Support に変更。
- Extended Support に関する記載を削除（今後 Extended Support は提供されないため）。
- 注記 2 につき、「Enterprise Linux プログラム」を追記。
- 注記 3 につき、ハードウェア認証の提供を 3 年から 4 年に変更。

◆ Enterprise Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Enterprise Linux Network Support

- Enterprise Linux Network Support の期間を 5 年から 8 年に延長。

◆ Enterprise Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Enterprise VM Premier Support

- Oracle VM Premier Support の期間を 5 年から 8 年に延長。
- OracleMetaLink から My Oracle Support に変更。
- Extended Support に関する記載を削除（今後 Extended Support は提供されないため）。
- 注記 2 につき、「Oracle VM プログラム」を追記。
- 注記 3 につき、ハードウェア認証の提供を 3 年から 4 年に変更。

◆ Web によるカスタマ・サポート・システム

- OracleMetaLink から My Oracle Support に変更。

◆ 重要度の定義

- OracleMetaLink から My Oracle Support に変更。

Oracle Enterprise Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2009 年 11 月 6 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ 概要

- Oracle Enterprise Linux and Oracle VM Services Agreement における「サービス」の定義に合わせるため、「Enterprise Linux 及び／又は Oracle VM サポート・サービス」という記述を「サービス」に変更。
- オラクルのプライバシー・ポリシーへのリンクをアップデート。
- ポリシー変更時に関する記述の表現をアップデート。

◆ サポート条項— Enterprise Linux 及び Oracle VM サポート料金

- 「Enterprise Linux 及び Oracle VM サポート・サービスのためのサポート料金」について「Enterprise Linux 及び Oracle VM」を削除。

◆ サポート条項— サポート期間

- 「Enterprise Linux 及び Oracle VM サポート・サービス」について「Enterprise Linux 及び Oracle VM」を削除。
- 「サポート期間満了日又はそれ以前に Enterprise Linux 及び Oracle VM サポートの契約が更新されない限り」という記述を削除。

◆ サポート条項— 技術連絡先

- 最初の段落で、「Enterprise Linux 及び／又は Oracle VM サポート」という記述を削除。
- トレーニングに関する記述を変更。

◆ サポート条項— 支払合意書、融資およびリース契約書

- 「Enterprise Linux 及び／又は Oracle VM サポート」という記述を削除。

◆ サポート条項— サポート終了の権利

- 本セクションの最初の 2 文を統合。

◆ サポート条項— First Line Support と Second Line Support

- お客様の社内ユーザーに直接“First Line Support”を提供する体制及びプロセスを構築し維持することにつき、「お勧めします」という記述を「する必要があります」という記述に変更。
- 2 つ目の段落の内容を以下の通り変更—
 - “Second Line Support”を依頼するためにオラクルに連絡することにつき、「していただけます」という記述を「することができます」という記述に変更。
 - オラクルが Second Line Support を提供するのに必要となるアクセスを提供できない場合につき、「サービスを確実に実施することができません」という記述を「サービスの実施を保証いたしません」という記述に変更。
- Second Line Support の内容で、「～を含むものとしますが、これらに限定されるものではありません」という記述を「～を含みます」という記述に変更。

◆ Enterprise Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Enterprise Linux Basic Support

- ハードウェアの認証について、注記 3 として内容を追加。

◆ Enterprise Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Enterprise Linux 及び Oracle VM の Priority Service

- Oracle Support Delivery Manager (SDM) に関する記述をアップデート。
- SDM の代行／変更に関して記述を変更。

Oracle Enterprise Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2009 年 6 月 26 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ 全体

- グローバル版の原文（英語）との対比における日本語の表現を調整しました。

◆ サポート条項— サービス・レベル

- セクション名を「サービス・レベルの一致」から「サービス・レベル」に変更。

- Enterprise Linux 及び Oracle VM に対する Priority Service のサービス・レベルの条件を追加。

◆ **Enterprise Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル— Priority Service**

- Enterprise Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベルの説明に Priority Service を追加。

Oracle Enterprise Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシーの、2008 年 3 月 13 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ **全体**

- 本ポリシードキュメントの関連箇所に Oracle VM を含め、「Oracle Enterprise Linux 及び Oracle VM サポート・ポリシー」とする。

◆ **サポート条項— サポート・サービス連絡先**

- 旧「Enterprise Linux サポート・サービスをさらにご活用いただくために」の内容を含める形で修正。（旧「Enterprise Linux サポート・サービスをさらにご活用いただくために」を削除）。

◆ **サポート条項— Enterprise Linux 及び Oracle VM サポート・サービス・レベル**

- Enterprise Linux Network Support の提供期間を 3 年から 5 年に延長。
- Oracle VM Premier Support の項目を新設。

◆ **サポート条項— Enterprise Linux サポート・サービスをさらにご活用いただくために**

- 「Enterprise Linux サポート・サービスをさらにご活用いただくために」を削除（一部を「サポート・サービス連絡先」に統合）。

Oracle Enterprise Linux サポート・ポリシーの、2007 年 9 月 3 日付で更新された内容は、以下となります：

◆ **Enterprise Linux サポート・サービス・レベル— Enterprise Linux Premier Support/Enterprise Linux Basic Support**

- 既存の顧客にのみ提供されるという制限を削除。

-
- 初回リリース